

**矢部中学校 2年 村山 詩織 議員**

**Q** 山都の未来のために、病院に産婦人科を設置して欲しい

**A** 健康福祉課長  
町内で出産をしたいという妊婦さんは少なくありませんが、命がけのお産では、産婦人科・小児科双方の一貫した総合医療体制が必要とされます。  
母子手帳を交付し妊娠後の健診の際、保健師や栄養士がこれからの生活指導や相談、出産に関する聞き取り調査を実施しています。  
また、出産祝い金など子育て支援策も行っています。

**矢部中学校 2年 平岡 陽 議員**

**Q** ICT機器（タブレット端末）の導入と町条例の設定

**A** 教育長  
ICT機器の導入については、国や県でも推進しているところですが、山都町においても現在整備を進めているところです。  
平成29年度から数年かけて、パソコンをタブレット型に変えていくように整備を進めています。また、スマホ等の規制に関する条例ですが、条例化については今後慎重に考える必要があります。

**矢部中学校 2年 岡崎 小みち 議員**

**Q** 山都町の町おこし！ギネス世界記録挑戦で世界へ魅力を発信

**A** 企画政策課長  
山都町において、日頃から実施されている様々なイベントに絡めていけば、実現可能ではないかと思えます。  
このような企画があった場合、積極的に支援を行います。ギネス世界記録に挑戦することにより、震災復興の一環としてまた、山都町の情報発信や町民の方々の元気づけ・意識高揚の手段のひとつとなればと考えます。

**矢部中学校 1年 村上 直弥 議員**

**Q** 安心・安全な町づくりのために街灯の設置を！

**A** 総務課長  
実際に現場を見て、その地域代表者の方とも十分話し合っ決定しなければならないと思います。  
山都町の面積から考えれば不十分な箇所も多くあると考えています。現在、町では、白色灯を設置していますが、提案にあったように青色街路灯の設置についても明るさや価格、ランプの寿命時間などさまざまな観点から比較、調査研究をしてみたいと思います。

**清和中学校 2年 倉岡 和希 議員**

**Q** インターネットを活用した地域のPR

**A** 山の都創造課長  
若い皆さんのユニークなアイデアを採り入れ、地域の皆さんの真の魅力を地域の皆さんと一緒に発信していきたいと思えます。  
インターネットを活用した町の情報発信という発想は若い皆さんならではの提案だと思います。皆さんひとり一人が山都町の特派員、情報発信者になっていただきたいと思えます。

**清和中学校 1年 倉岡 綾 議員**

**Q** 自然を利用したアスレチック施設やアウトドアイベントの企画

**A** 山の都創造課長  
山都町には本当に素晴らしい自然やキャンプ場があるので、施設と協力し施設の充実を図り、併せて魅力あるアウトドアイベントを新しく企画していきたい。  
ポルダリングは若者に人気があり、美里町の例もあるので、町としてどんな整備が出来るかを検討したい。皆さんの斬新なアイデアをどんどん提案していただきたいと思えます。

**清和中学校 2年 熊川 郁美 議員**

**Q** 地域の図書館の充実

**A** 生涯学習課長  
山都町は一人当たりの蔵書数としては県内市町村で2番目に多く、毎年新刊刊或いは読みたい本の要望を受け、購入をしているところです。調べ物をおこなうインターネットスペースなどについては、利用者の意見を参考に環境作りを取組みたいと思えます。  
インターネットを接続したパソコンの設置は清和分館のみです。本来の図書館としての機能を構築する必要があることから、本館及び蘇陽分館においてもインターネット環境を整備していきたいと思えます。

**清和中学校 2年 藤原 紗来 議員**

**Q** 誰でも取り組める運動・スポーツの推進

**A** 生涯学習課長  
山都町では、総合型地域スポーツクラブとして「山都ふれあいスポーツクラブ」を平成22年に立ち上げ、種目は全部で10種類用意されています。年齢や性別に関わらず住民の誰もが継続的にスポーツに親しめるようになっています。  
誰でも取り組める運動や体操を町独自で考案して普及してほしい、というご提案は、私たち生涯学習を推進する担当課としても貴重なご提案ですので、早速、町のスポーツ推進委員とも検討していきたいと思えます。

**清和中学校 1年 倉岡 大樹 議員**

**Q** 道路に外灯を設置し、外灯のデザインを工夫し、町のPRをおこなう

**A** 総務課長  
街路に沿って整備される街路灯は、デザインが重視され街路の美化に役立つことも期待されているところです。街路灯で地域をPRという観点は素晴らしい発想ですので、これからのまちづくりを計画した上でぜひとも取り入れていきたいと思えます。  
山鹿灯籠や特産の果物など、その町の特徴や特産物等をあしらった街路灯を設置している自治体もありますが、山都町も浜町商店街や馬見原商店街に、落ち着いた趣のある街路灯を設置しています。

**蘇陽中学校 2年 片倉 幹太 議員**

**Q** 森林を利用してアスレチックやレクリエーション施設を作ってみてはどうか

**A** 山の都創造課長  
施設を作ると都会の家族との交流活動ができなにかということですが、山都町の「そよ風パーク」は、農村と都市との交流を図る、長期滞在型施設を目的に、農林水産省の補助金を活用して作られた施設です。他のキャンプ場施設とも連携して、受け入れ施設となるようにハードソフト両面から検討したいと思えます。  
山都町の面積の70%は山林です。この広大な資源を如何に有効に活用するかは、大変重要な課題です。森林そのものの活用と、杉や檜といった素材として活用するの、その二面からの検討が必要と考えます。

**蘇陽中学校 2年 興梠 優斗 議員**

**Q** 冬場は観光客も少ないので、イルミネーションの設置や星空をアピールしては（インスタ映えする場所にしては）

**A** 山の都創造課長  
イルミネーションについては、各地区で取組みがされているので、それぞれの地域の独自の取り組みを支援していきたい。これから、星空の下での婚活イベントなども企画していきます。皆さんも山都町のインスタ映えするスポットやシーンを見つけてSNSで大いに発信して戴きたいと思えます。  
通潤橋も本年度には修復が完成するので、それに合わせたライトアップやイベントを検討していきたい。

**蘇陽中学校 2年 渡邊 萌笑 議員**

**Q** たくさんの廃校を利用して町民がいつでもつかえる総合体育館や勉強などの学びの場としての施設がほしい

**A** 学校教育課長  
山都町には閉校して施設が残っている小・中学校が20カ所ほどありますが、一定の期間や条件を満たした廃校を利用して、民間のほか、自治振興区が活用されています。さらに地域の活性化に役立つために、どのような利用ができていくのかを町全体で考えていきたいと思えます。  
現在、矢部地区の旧中島西部小や下名連石小では福祉関係の施設、白米第3小では通信制高校「一つ葉高校」校舎、清和地区の旧緑川小では宿泊滞在施設「清流館」が運営されています。

**蘇陽中学校 1年 田上 文哉 議員**

**Q** 学校跡地を利用し総合スポーツ施設を作してほしい

**A** 学校教育課長  
山都町では、社会体育のジュニアスポーツクラブが、それぞれ学校や体育館、グラウンドを利用して活動しています。今後、学校跡地の利用方法を検討していく中で、議員ご提案の方法も視野に入れながら、住民みなさんの意見を聞いて、跡地利用を考えていきます。  
現在、ジュニアスポーツクラブには14種目があります。これらの活動で使用される社会体育施設は使用料を免除しています。

**蘇陽中学校 2年 木山 誠太郎 議員**

**Q** 山都町道路舗装維持管理計画の中に農道も付け加えてほしい（熊本地震を受けて）

**A** 建設課長  
熊本地震（水害）では大変な被害を被りました。町では町道1,035本、延長にすると1,000kmを超える維持管理をおこなっています。町道を整備するだけでも相当な時間や費用がかかるため、その中でも地区において特に重要だと思われる道路の全面改良、カーブの改修、舗装、一部改良の計画に沿って整備を進めていきます。

**蘇陽中学校 1年 春木 宏亮 議員**

**Q** 九州横断自動車道延岡線に蘇陽インターチェンジを作してほしい

**A** 建設課長  
総延長は95kmの計画で、そのうち熊本県側は14.9km開通している。30年度中には北中島まで開通予定。矢部から蘇陽間は現在のところ整備計画、事業化までに至っていません。  
蘇陽にインターチェンジを作りたいという貴重な意見は、県や国へ強く要望していきたいと思えます。

## 第5回 山都塾 「地域の未来を語ろう！子ども議会」



子ども議会が平成30年1月30日に行われ、町内の各中学校を代表する生徒会役員16名が「子ども議員」となり、子どもの視点から町への質問や意見、提言などをしました。

## 山都町の将来を共に考える。



**矢部中学校 2年 東 茅由 議長**

子ども議会では、大変貴重な経験をさせていただきありがとうございました。緊張をしましたが、無事議事を進行することが出来てよかったです。  
また、子ども議員からは私たちの山都町がより良くなるための沢山の意見や要望がありました。これらは私たちが一生懸命考えた内容です。もしよろしければこれからの町づくりに取り入れていただければ嬉しいです。

**山都町の将来を担う子どもたち**

町内各中学校の生徒会役員皆さんが、「子ども議会」に向けて山都町の現状や魅力などをしっかりと見定め、町の発展につながる質問や提言をしてくれました。言葉の中に町を愛する気持ちが強く込められていました。  
将来を担う子どもたちの育成を目的に始めた「山都塾」の成果を感じることが出来ました。中学生議員の姿は、山都町の輝く未来への大きな希望となります。ありがとうございました。

**山都町初の子ども議会**

この日、議場はいつもの雰囲気と異なり、議席には子ども議員の姿がありました。緊張の面持ちでしたが、一般質問が始まるど大人顔負けの鋭い質問が飛び交いました。  
**子ども議会の目的**  
山都塾の基本理念である郷土に誇りを持ち、町の未来を担う人づくりをより具現化していくため、子ども議会をおして、実践的に町の将来を共に考えることを目的としています。